

あいさつ

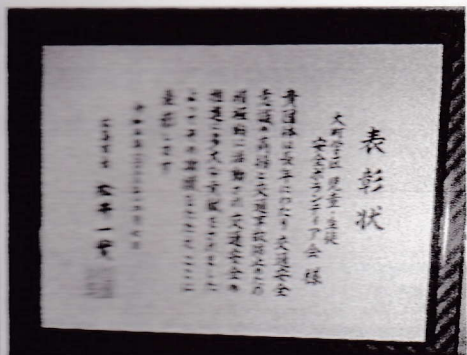
大町学区連合町内会の皆様、そろそろ暖かくなりつつありますが、花粉の季節となります。なかなか現代は難問奇問が続きます。年度末も近づき、慌ただしい時期となります。お身体をご自愛くださいませ。

さて、連合町内会のうごき等を、町内会の皆様にお知らせします。

うごき

○広島市交通安全功労市長表彰式

2月7日(土)に令和4年度広島市交通安全功労市長表彰式が実施され「大町学区児童・生徒安全ボランティア会」が受賞されました。



大町学区の児童生徒を守るために発足された安全ボランティアの会が、長年の功績を評価されました。おめでとうございます。

この会は、平成17年に児童が関係する事故が多発したことを契機に、会員がそれぞれ交代で、大町学区内約8箇所・週3回見守り活動を実施しております。児童の下校時刻に合わせて、学区内を、黄緑色の上着を着て、横断旗を用いて横断指導と声掛けを行っています。

児童・生徒の下校時を中心に、活動を支える「安全ボランティア参加者」の皆さんも高齢化問題と活動内容等の見直しについても検討しています。

是非とも仲間を増やし、児童生徒の安全見守りをするため、皆様の積極的な参加をよろしくお願い致します。

是非とも仲間を増やし、児童生徒の安全見守りをするため、皆様の積極的な参加をよろしくお願い致します。

○安佐南区防災講演会

2月25日(土)安佐南区役所にて安佐南区防災講演会が開催されました。



区長挨拶の後、2021年の土砂災害で被災を受けた山本学

区畑組自治会自主防災会から「当時24名の死亡があった。災害を風化させることなく被害状況をビデオにまとめた。その時の感想や状況を聞き取り、発信側が発言しなければならない。日ごろから地区活動、コミュニケーションをとっていたため、後世に残せるものができた。」とありました。続いて気象予報士であり防災士の岸真弓さんから「避難につなげる気象情報にするために」と題して講演がありました。RCC「イマナマ!」や「おはようラジオ」にも出演され、気象予報士として活躍されています。2014年8月20日の広島の大災害が契機となり、どうすれば避難につなげていける報道となるかを考え始めたそうです。「広島県は土砂災害の危険個所が全国一多い。避難は家族で話し合い、自分宅の危険度。避難に関するルールを決めることが大事。親族が避難を勧めたら避難するご高齢者も多い。積極的に非難をするように声掛けをお願いします」とありました。

最後に市役所から「ひろしま避難誘導アプリ」を活用していきましょう」とありました。



予定

- 3月11日(土) 公的団体会議
- 3月22日(水) よつばのクローバー
- 4月29日(土) 連合町内会総会